

法人設立 70 周年記念

2020 年 9 月 25 日

1950 年 9 月 25 日に弊社は法人設立を致しました。

創業は 1860 年、田島善五郎が東京は赤坂溜池に刀鍛冶工房を作ったのが始まりです。

創業から数えますと、160 年の歴史となります。

弊社は初代が刀鍛冶、二代目が銅壺職、三代目が自動車製造及びボディ製作、四代目が精密板金工業とその時代背景により、変革を続けてまいりました。

そして五代目である私が現在、工作機械の業界でバリ取り機、洗浄機、投入機、特殊専用機、研磨ホイール、等々の製造販売を行っています。

この 70 年を振り返りますと、戦後の復興期に三代目が自動車製造に着手したのが始まりでした。当時走っていたアメリカ車や国産自動車を買取り、オーバーホールをして、ボディを載せ替え、販売をしていました。のちに、エンジンからシャーシ、ミッションまでも製造し、自社ブランドとして製造販売を行っていました。

時代が流れ高度経済成長が始まり、オイルショックがあり、バブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災、そして新型コロナウイルスによるコロナショックと、日本経済は目まぐるしく流れる中、弊社はその時代時代に形態を変えつつ、現在の機械メーカーとして確たる地位を確立してまいりました。

トーバン工業の歴史は金属加工の歴史でもあります。

四代目が精密板金加工をメインに事業展開をしている中、外資系の企業と取引をした際に、頂いた図面に「バリ無きこと」と書かれていました。当時、バリ取り作業は賃金として認められなく、サービス加工とされていました。そんなさなか、頂いた仕事の膨大な図面の全てに「バリ無きこと」と指示があり、頭を悩ます事となります。

そこで我々は考えました。バリ取り機を作ろうと。

研究開発に着手して 2 年、ブラシによる多軸型平面バリ取り機を完成させました。

それが「バリタック」なのです。

現在では、さまざまな構造特許を取得し、バリタックのシリーズも十数種類に及びます。

バリ取り機のみならず、洗浄機や投入機、特殊バリ取り専用機の製作も行っています。

また研磨ホイールの開発も行い、自社ブランドで研磨ホイールの販売も行います。

社会に貢献する企業。社会から必要とされる企業をめざし、日々精進してまいりました。

100 年に一度と言われる大変革の中、我々はさらに邁進して行く所存です。

今後とも皆様方の暖かいご支援ご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。

トーバン工業株式会社

代表取締役社長 田島 泰彦